

3月に61歳になった。お  
りがたいことにSNSを通  
じて多くの方からお祝いの  
メッセージをいただいた。  
心温まるメッセージが多い  
中「かっこいいシニアを自  
指してください」。これに

# Smart Times

は反応してしまった。シニ  
アと呼ばれることに心理的  
な抵抗がある。生涯現役を  
標榜する身としては「違  
います」と声高に言いたくな  
った。

わが国の総人口に占める  
65歳以上の割合は2022

インディゴブルー会長

柴田 励司



1985年上智大文卒。マーサー・ジャパン社長、  
カルチュア・コンビニエンス・クラブの最高執行  
責任者(COO)などを経て、2010年インデ  
ィゴブルー社長、15年から会長。

年9月現在29・1%に上る。 齢者が駅や病院などで暴力  
今後もその割合は増え続け をふるう、暴言を吐くなど  
る。内閣府の調査によると の犯罪報道が後を絶たな  
65年には38・4%に達する い。傷害により検挙された  
見込みだという。一方で健 65〜69歳の高齢者は、10年  
康上の問題で日常生活が制 前と比べて約4・7倍も増

## 「ハイパー・ミドル」と呼んで

のオンライン  
講座を40コ  
マ。これまで  
に150人超

限されることなく生活でき 加しているという統計があ  
る健康寿命は延びてい る。  
元気で活躍できる60代が増 その背景として、高齢者  
えているのだ。私自身を含 の経済的な困窮や社会的な  
め、あと20年くらいは普通 孤立が挙げられている。元  
に仕事をし、生活する予定 気だが金がない、貢獻でき  
のものとしては、引退前の る場がない、話を聞いてく  
呼称で呼ばれるのは釈然と れる人がいない、というこ  
しない。 とだと思ふ。多くの会社の

60代まだまだ、と言いな 人事制度がいまだに若手が  
がら残念な状況もある。高 次々に入社してくるとい

前提に基づいた「人材消費 制度の運用から「年齢」要  
素をなくすことが必要だ。  
モデル」だからだ。

「人材消費モデル」は私 一方で個人側の自助努力も  
の造語で、20代には仕事を 欠かせない。3年前からア  
覚えよ、30代には会社をけ ラフォー以上を対象とした  
ん引せよ、40代にはリーダ 学び直しの場PHAZER  
ーとして導け、50代には早 カレントをボランティアで  
く辞めてくれ、というモデ やっている。ポータブルス  
ルのことだ。今やそんな環 キルの磨き直しと心の持ち  
境ではない。年齢性別に関 ようのリセットがテーマ  
係なく適材適所とすべきだ だ。週3回朝7時から8時

し、年齢性別に関係なくバ の卒業生が出ている。  
フォーマンスに応じた報酬 冒頭に書いた「シニア」  
にすべきだし、定年は廃止 と呼ばれることに抵抗があ  
との方がよいと思ってい るとするなら、なんと呼ば  
る。健康不安やコミュニケ れるのがいいのか。「ハイ  
ーション上の問題がなけれ パー・ミドル」がいい。こ  
ば90歳現役も大いに結構だ れからはハイパー・ミドル  
と思っている。 の柴田さんと呼ばれた。

60代、70代が当たり前に 活躍できる環境にする。そ  
る人はハイパー・ミドルで